

地域経営学部

開催日程	時間	コース名	タイトル	担当教員	詳細
2026/7/19 (日)	14:40～	【経営イノベーションコース】	サステイナブルな地域社会に向けた、顧客志向のイノベーションと商品開発	森 俊也	地域にある企業の多くは沢山の事業・商品を抱えていて、その事業・商品の多くは成熟期にあります。これらの地域企業では様々な視点で商品が開発・提供されていますが、その視点の多くは「品質や機能や価格」といったもの。その視点でこれからのモノづくりは大丈夫でしょうか？学生の取組事例を確認しながら考えていきましょう！
	14:40～	【地域サステナビリティコース】	ツキノワグマの意外な役割	高橋 一秋	ツキノワグマ=害獣。そんなイメージがあるのでは？しかし、生態学の視点でクマを見つめると、生態系を支える働き者。模擬授業では、ツキノワグマの意外な役割や、これからのクマとの付き合い方について紹介します。
	15:40～	【経営イノベーションコース】	伝統的工芸品の世界と産業の未来	石川 義宗	伝統的工芸品の美と技は日本文化の結晶であり、近年は外国人にも人気です。しかし、その産業として継続は容易ではありません。この授業では、工芸品の世界を紹介するとともに、その課題について考えます。
	15:40～	【地域サステナビリティコース】	市民主体で進めるサステイナブルな地域づくりとは？	松下 重雄	持続可能な地域の実現には、これまでの社会のあり方を見直し、新たな価値観にもとづく新しいしくみに変革していく必要があります。このことについて、地域における市民主体の地域づくりの観点から考えてみましょう。

開催日程	時間	コース名	タイトル	担当教員	詳細
2026/8/23 (日)	14:40～	【経営イノベーションコース】	「思いの経営学」をもとにした地域企業の商品開発とイノベーション	森 俊也	現状と目標とのギャップを埋める「問題解決」。地域企業や地域社会で生まれている課題・問題は「顧客にして欲しい思い」をもとにした経営学（思いの経営学）でどのように解決できるでしょうか。地域企業などで実際に生まれている問題解決の事例や、学生が展開しているプロジェクトを見ながら、地域企業の商品開発やイノベーションについて考えます。
	14:40～	【地域サステナビリティコース】	地域の記憶と記憶を未来に伝える :資料レスキューという取り組み	相川 陽一	自然災害や大規模開発などによって、地域の記録と記憶をいまに伝える貴重な資料や文化財が消滅の危機に直面しています。この授業では、研究や行政活動による地域貢献の事例として、さまざまな分野の研究者と公務員が連携して進めている資料・文化財レスキューの取り組みについてお話しします。
	15:40～	【経営イノベーションコース】	文系学生がAIアプリを創り出す — 化粧・肌診断アプリに挑む学生たち —	田中 法博	文系学部でもAIを活用したアプリ開発ができます。化粧シミュレーションや肌診断アプリを題材に、学生が企画・開発に関わる実践的な学びと、商品企画・マーケティングへの展開を講義形式で紹介しします。
	15:40～	【地域サステナビリティコース】	伝統野菜を活用したまちづくり	古田 睦美	長野県は野菜の宝庫ですが、とりわけ伝統野菜の種類は全国で最も多く、観光資源でもあります。この授業では、伝統野菜の魅力から入り、地域資源を生かした地域振興の面白さや可能性を考えていきます